

平成23年8月26日

厚生労働省保険局調査課

課長 村山 令二（内線：3291）

課長補佐 佐藤 裕亮（内線：3297）

担当係 医療機関医療費係（内線：3298）

電話：03-5253-1111（代表）

03-3595-2579（直通）

FAX：03-3504-1210

最近の調剤医療費（電算処理分）の動向 ～ 平成22年度版 ～

【調査結果のポイント】

- 平成22年度の処方せん1枚当たり調剤医療費（電算処理分。以下同じ。）は、7,984円で、対前年度比は▲0.6%。平成18年度以来、4年ぶりの減少。
その内訳は、技術料が2,104円で全体の26.3%、薬剤料が5,867円で全体の73.5%であり、対前年度比は、技術料が4.7%の増加に対し、薬剤料は薬価引下げ等の影響を受け▲2.4%の減少となった。【表1、表2】
- 処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上が10,008円で、0歳以上5歳未満3,149円の約3倍となっている。【表3】
- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は▲3.0%。
この伸び率を、「薬剤種類数」「投薬日数」「1種類1日当たり薬剤料」の3要素に分けてみると、「薬剤種類数」は1.2%、「投薬日数」は0.9%、「1種類1日当たり薬剤料」は▲5.0%となった。近年、3%以上の伸びを示していた「投薬日数」の伸び率が低下したこと、及び「1種類1日当たり薬剤料」が減少したことが、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の減少につながった。【表4】
- 後発医薬品の割合は、薬剤料ベースでは8.2%（前年度比1.3%ポイント増）、数量ベースでは22.4%（同3.4%ポイント増）となっている。【表11】
- 都道府県別の内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料は、石川県が7,016円と最も高く、佐賀県が3,915円で最も低い。
後発医薬品割合については、数量ベース、薬剤料ベースともに沖縄県が最も高く、それぞれ35.9%、12.5%となっている。一方、数量ベースでは秋田県が最も低く17.8%、薬剤料ベースでは徳島県が最も低く6.1%となっている。【表14、表15】

平成22年度最近の調剤医療費（電算処理分）の動向は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス(<http://www.mhlw.go.jp/>)

最近の調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～平成22年度版～

1. 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

平成22年度の電算処理割合は、医療費ベース、処方せん枚数ベースとも99%に達している。処方せん1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%未満と小さい。

表1 調剤医療費の全数と電算処理分の比較

		実数						対前年度比(%)				
		平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
全 数	調剤医療費(億円)	45,927	47,468	51,673	54,402	58,695	60,822	3.4	8.9	5.3	7.9	3.6
	処方せん枚数(万枚)	66,363	68,955	70,739	72,008	73,056	76,169	3.9	2.6	1.8	1.5	4.3
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,921	6,884	7,305	7,555	8,034	7,985	▲0.5	6.1	3.4	6.3	▲0.6
電 算 処 理 分	調剤医療費(億円)	25,658	33,305	41,803	49,630	58,124	60,389	29.8	25.5	18.7	17.1	3.9
	電算化率(%)	55.9	70.2	80.9	91.2	99.0	99.3	—	—	—	—	—
	処方せん枚数(万枚)	36,777	48,106	57,089	65,638	72,345	75,636	30.8	18.7	15.0	10.2	4.5
	電算化率(%)	55.4	69.8	80.7	91.2	99.0	99.3	—	—	—	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	6,977	6,923	7,322	7,561	8,034	7,984	▲0.8	5.8	3.3	6.3	▲0.6
	電算処理分/全数	1.008	1.006	1.002	1.001	1.000	1.000	—	—	—	—	—

2. 調剤医療費の内訳

処方せん1枚当たり調剤医療費(以下、電算処理分に限る。)の内訳をみると、技術料の割合が26.3%、薬剤料の割合が73.5%となっている。

対前年度比は、技術料が4.7%、薬剤料が▲3.0%となっており、処方せん1枚当たり調剤医療費全体では▲0.6%となっている。

表2 処方せん1枚当たり調剤医療費の内訳

	実数						対前年度比(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
調剤医療費(円)	6,977	6,923	7,322	7,561	8,034	7,984	▲0.8	5.8	3.3	6.3	▲0.6
技術料(円)	1,897	1,901	1,924	1,984	2,010	2,104	0.2	1.2	3.1	1.3	4.7
構成割合(%)	27.2	27.5	26.3	26.2	25.0	26.3	—	—	—	—	—
薬剤料(円)	5,069	5,011	5,387	5,565	6,011	5,867	▲1.2	7.5	3.3	8.0	▲2.4
構成割合(%)	72.7	72.4	73.6	73.6	74.8	73.5	—	—	—	—	—
内服薬薬剤料(円)(再掲)	4,301	4,245	4,573	4,713	5,092	4,941	▲1.3	7.7	3.0	8.1	▲3.0
特定保険医療材料料(円)	10	11	12	12	13	13	7.5	8.2	3.7	9.8	1.3
構成割合(%)	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	—	—	—	—	—

3. 年齢階級別の状況

処方せん1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、75歳以上では10,008円と、0歳以上5歳未満の3,149円の約3倍となっている。

表3 年齢階級別処方せん1枚当たり調剤医療費

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
総数	6,977	6,923	7,322	7,561	8,034	7,984	▲0.8	5.8	3.3	6.3	▲0.6
0歳以上5歳未満	2,892	2,865	2,929	3,005	3,129	3,149	▲0.9	2.2	2.6	4.1	0.7
5歳以上10歳未満	3,838	3,750	3,875	3,993	4,278	4,280	▲2.3	3.3	3.1	7.1	0.0
10歳以上15歳未満	4,556	4,359	4,545	4,672	4,929	5,014	▲4.3	4.3	2.8	5.5	1.7
15歳以上20歳未満	4,558	4,492	4,694	4,902	5,064	5,225	▲1.5	4.5	4.4	3.3	3.2
20歳以上25歳未満	4,668	4,604	4,828	5,042	5,221	5,308	▲1.4	4.9	4.4	3.6	1.7
25歳以上30歳未満	4,892	4,856	5,103	5,316	5,540	5,604	▲0.7	5.1	4.2	4.2	1.1
30歳以上35歳未満	5,193	5,167	5,430	5,667	5,941	5,975	▲0.5	5.1	4.4	4.8	0.6
35歳以上40歳未満	5,664	5,643	5,957	6,231	6,572	6,613	▲0.4	5.6	4.6	5.5	0.6
40歳以上45歳未満	6,230	6,195	6,535	6,828	7,241	7,295	▲0.6	5.5	4.5	6.1	0.7
45歳以上50歳未満	6,824	6,767	7,120	7,376	7,796	7,794	▲0.8	5.2	3.6	5.7	▲0.0
50歳以上55歳未満	7,351	7,275	7,635	7,881	8,320	8,272	▲1.0	5.0	3.2	5.6	▲0.6
55歳以上60歳未満	7,828	7,751	8,133	8,345	8,809	8,720	▲1.0	4.9	2.6	5.6	▲1.0
60歳以上65歳未満	8,065	7,998	8,423	8,665	9,151	9,056	▲0.8	5.3	2.9	5.6	▲1.0
65歳以上70歳未満	8,290	8,192	8,600	8,817	9,326	9,254	▲1.2	5.0	2.5	5.8	▲0.8
70歳以上75歳未満	8,552	8,446	8,875	9,111	9,611	9,495	▲1.2	5.1	2.7	5.5	▲1.2
75歳以上	8,817	8,751	9,220	9,491	10,041	10,008	▲0.7	5.4	2.9	5.8	▲0.3

4. 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料4,936円を、処方せん1枚当たり薬剤種類数、投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.90、19.9日、86円となっている。

また、内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率▲3.0%を、処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率、投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々1.2%、0.9%、▲5.0%となっている。近年、3%以上の伸びを示していた「投薬日数」の伸び率の低下、及び「1種類1日当たり薬剤料」の減少が内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の減少につながった。

表4 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数						対前年度比(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
内服薬 処方せん1枚当たり 薬剤料(円)	4,296	4,243	4,571	4,706	5,087	4,936	▲1.2	7.7	3.0	8.1	▲3.0
処方せん1枚当たり薬剤種類数	2.77	2.80	2.83	2.85	2.87	2.90	1.0	1.1	0.8	0.4	1.2
投薬日数(日)	16.7	17.3	17.9	18.8	19.7	19.9	3.2	3.5	5.3	4.5	0.9
1種類1日当たり薬剤料(円)	93	88	90	88	90	86	▲5.3	2.9	▲3.0	3.0	▲5.0

5. 薬効分類別の状況(1)(処方せん1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が1,407円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が658円となっている。対前年度比は、中枢神経用薬が4.1%で最も高く、ビタミン剤が▲9.7%で最も低い。

表5 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
内服薬 総数	4,296	4,243	4,571	4,706	5,087	4,936	▲1.2	7.7	3.0	8.1	▲3.0
11 中枢神経系用薬	485	500	555	596	658	685	3.2	11.1	7.2	10.5	4.1
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	74	74	78	84	89	85	▲0.5	5.2	7.3	6.6	▲4.1
114 解熱鎮痛消炎剤	81	76	81	84	91	89	▲5.4	6.5	3.9	8.4	▲3.1
116 抗パーキンソン剤	61	60	62	62	66	66	▲2.0	2.7	1.3	5.4	0.6
117 精神神経用剤	168	183	209	220	240	248	8.7	14.3	5.1	9.2	3.3
119 その他中枢神経系用薬	71	78	95	113	136	159	10.1	21.6	19.0	20.0	17.4
21 循環器官用薬	1,276	1,260	1,360	1,371	1,497	1,407	▲1.3	7.9	0.9	9.2	▲6.0
212 不整脈用剤	92	85	87	84	86	77	▲7.0	2.3	▲4.0	2.2	▲10.1
214 血圧降下剤	532	546	605	614	677	649	2.6	10.9	1.6	10.3	▲4.2
217 血管拡張剤	286	275	286	275	282	236	▲3.9	4.0	▲3.8	2.6	▲16.2
218 高脂血症用剤	283	272	294	309	352	340	▲4.0	8.2	5.0	13.9	▲3.5
22 呼吸器官用薬	90	82	78	74	73	69	▲8.7	▲4.3	▲5.3	▲1.6	▲4.9
23 消化器官用薬	470	457	487	492	530	491	▲2.9	6.8	0.9	7.7	▲7.3
232 消化性潰瘍用剤	357	341	364	366	395	360	▲4.5	7.0	0.5	7.9	▲8.8
239 その他の消化器官用薬	53	54	58	60	65	65	2.7	7.1	2.7	9.9	▲0.6
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	114	111	125	134	148	142	▲3.0	13.0	6.7	10.6	▲3.8
31 ビタミン剤	115	108	111	106	109	98	▲6.4	2.5	▲3.8	2.3	▲9.7
32 滋養強壮薬	57	58	62	64	69	66	1.0	7.0	2.9	7.7	▲4.3
325 蛋白アミノ酸製剤	50	50	54	56	60	58	1.2	7.5	3.3	8.3	▲4.1
33 血液・体液用薬	224	229	260	281	316	309	1.8	13.6	8.3	12.2	▲2.2
39 その他の代謝性医薬品	405	420	471	490	537	532	3.6	12.1	4.2	9.5	▲0.9
396 糖尿病用剤	151	158	179	187	205	210	4.6	13.0	4.9	9.5	2.2
399 他に分類されない代謝性医薬品	172	180	207	221	247	246	5.0	14.5	6.9	12.0	▲0.5
42 腫瘍用薬	208	215	233	243	260	255	3.0	8.3	4.5	7.0	▲2.1
422 代謝拮抗剤	82	78	79	76	74	69	▲3.9	1.2	▲3.7	▲2.8	▲7.1
429 その他の腫瘍用薬	122	131	146	159	178	178	7.3	11.5	8.6	11.7	0.1
44 アレルギー用薬	312	300	324	341	353	356	▲4.0	8.1	5.2	3.5	0.9
52 漢方製剤	88	86	93	98	106	107	▲1.6	8.1	5.4	8.1	0.6
61 抗生物質製剤	171	161	157	149	146	141	▲5.5	▲2.5	▲5.3	▲2.2	▲3.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	89	79	77	73	68	65	▲11.4	▲2.8	▲5.3	▲6.3	▲4.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	72	73	70	66	67	65	0.3	▲3.2	▲6.4	1.5	▲3.2
62 化学療法剤	194	176	173	182	195	181	▲9.1	▲1.6	5.2	7.0	▲6.9
624 合成抗菌剤	53	52	54	52	52	52	▲2.9	4.3	▲3.3	▲0.8	0.1
625 抗ウイルス剤	75	70	70	81	96	91	▲6.6	▲0.0	15.1	19.1	▲5.1

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

6. 薬効分類別の状況(2)(処方せん1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.62と最も多く、次いで消化器官用薬が0.49となっている。対前年度比は、呼吸器官用薬が6.6%で最も高く、化学療法剤が▲5.6%で最も低い。

表6 内服薬 薬効分類別処方せん1枚当たり薬剤種類数

	実数						対前年度比(%)					
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	
内服薬 総数	2.77	2.80	2.83	2.85	2.87	2.90	1.0	1.1	0.8	0.4	1.2	
11 中枢神経系用薬	0.44	0.45	0.46	0.45	0.45	0.45	1.7	2.6	▲1.5	0.1	▲0.5	
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14	0.14	2.8	3.2	▲3.5	0.4	▲2.1	
114 解熱鎮痛消炎剤	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	▲0.8	▲0.2	▲0.9	▲1.5	▲1.0	
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	▲0.4	1.0	▲2.7	▲0.7	▲3.6	
117 精神神経用剤	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	0.13	4.3	4.3	▲0.4	1.1	▲1.6	
119 その他中枢神経系用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	12.3	16.6	14.6	13.2	23.7	
21 循環器官用薬	0.55	0.56	0.58	0.60	0.62	0.62	2.0	3.1	3.1	4.1	▲0.4	
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	▲3.0	▲0.1	▲0.5	0.6	▲1.3	
214 血圧降下剤	0.17	0.18	0.19	0.20	0.21	0.21	4.8	5.4	5.6	5.6	0.7	
217 血管拡張剤	0.16	0.16	0.17	0.17	0.17	0.16	0.2	0.7	0.4	1.3	▲3.3	
218 高脂血症用剤	0.09	0.09	0.10	0.11	0.12	0.12	4.2	7.0	7.8	9.2	3.8	
22 呼吸器官用薬	0.29	0.29	0.27	0.27	0.25	0.27	▲1.3	▲4.7	▲1.7	▲5.2	6.6	
23 消化器官用薬	0.49	0.50	0.50	0.49	0.49	0.49	1.1	0.3	▲1.1	▲0.2	▲0.5	
232 消化性潰瘍用剤	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.1	0.4	▲0.5	0.7	▲1.4	
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	6.0	1.0	▲3.1	0.2	0.8	
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	7.4	4.0	4.6	5.1	0.3	
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲1.5	1.4	0.7	0.6	▲1.1	
32 滋養強壮薬	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.8	1.8	0.5	2.1	▲0.7	
325 蛋白アミノ酸製剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	6.1	7.0	6.3	7.8	3.2	
33 血液・体液用薬	0.11	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	4.1	4.7	4.3	3.1	1.8	
39 その他の代謝性医薬品	0.18	0.19	0.20	0.21	0.21	0.22	4.6	5.1	3.3	4.0	3.5	
396 糖尿病用剤	0.07	0.07	0.08	0.08	0.09	0.09	8.5	7.1	6.1	6.6	8.7	
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.03	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	10.7	16.3	7.5	8.2	2.3	
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.3	0.4	0.2	1.0	▲1.4	
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	▲3.8	▲2.7	▲3.8	▲3.7	▲6.0	
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.1	2.6	3.4	4.8	2.0	
44 アレルギー用薬	0.20	0.20	0.20	0.21	0.20	0.21	▲0.3	0.2	2.4	▲4.9	6.1	
52 漢方製剤	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	2.4	7.3	6.5	5.9	4.1	
61 抗生物質製剤	0.14	0.14	0.13	0.13	0.12	0.13	▲1.2	▲4.3	▲2.1	▲5.0	3.5	
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.09	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	▲5.5	▲4.0	▲2.9	▲7.1	2.4	
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	7.5	▲4.2	▲0.2	▲1.4	5.1	
62 化学療法剤	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	▲3.8	▲5.3	3.6	6.5	▲5.6	
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	3.8	1.6	▲2.5	▲2.6	9.2	
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	▲16.6	▲21.0	18.5	39.6	▲31.3	

注) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(投薬日数)

内服薬の投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の34.4日であり、最も短いのは抗生物質製剤の5.8日である。対前年度比は、腫瘍用薬が2.6%で最も高く、呼吸器官用薬が▲1.6%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別投薬日数

	実数(日)						対前年度比(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
内服薬 総数	16.7	17.3	17.9	18.8	19.7	19.9	3.2	3.5	5.3	4.5	0.9
11 中枢神経系用薬	15.6	16.0	16.4	18.0	18.9	19.1	2.6	2.4	10.1	4.5	1.6
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	16.0	16.2	16.4	19.4	20.4	20.9	1.1	0.9	18.7	5.0	2.6
114 解熱鎮痛消炎剤	11.3	11.6	12.1	12.7	13.3	13.5	2.9	3.9	4.9	4.7	1.7
116 抗パーキンソン剤	21.2	21.7	21.8	23.2	23.8	24.4	2.4	0.5	6.0	3.0	2.5
117 精神神経用剤	18.7	19.1	19.5	20.8	21.4	21.7	2.3	2.0	6.6	3.0	1.6
119 その他中枢神経系用薬	21.0	21.6	22.1	23.0	23.4	22.2	2.6	2.4	4.1	1.7	▲5.3
21 循環器官用薬	24.1	24.9	25.6	26.5	27.3	27.9	3.4	2.8	3.7	2.9	2.1
212 不整脈用剤	24.9	25.7	26.4	27.3	28.1	28.6	3.1	2.7	3.7	2.7	2.0
214 血圧降下剤	24.7	25.6	26.3	27.3	28.0	28.6	3.5	2.8	3.6	2.7	2.1
217 血管拡張剤	24.3	25.1	25.8	26.7	27.5	28.1	3.2	2.8	3.6	2.8	2.3
218 高脂血症用剤	25.2	26.1	26.8	27.9	28.8	29.4	3.6	2.7	4.0	3.3	2.2
22 呼吸器官用薬	7.4	7.4	7.6	7.7	7.9	7.8	0.0	1.5	1.6	3.3	▲1.6
23 消化器官用薬	17.2	17.5	18.1	19.0	19.8	20.0	2.3	3.0	5.3	4.2	1.1
232 消化性潰瘍用剤	18.5	19.1	19.6	20.5	21.2	21.7	2.8	2.7	4.6	3.6	2.1
239 その他の消化器官用薬	15.6	15.8	16.4	17.7	18.5	18.6	1.2	3.7	7.6	4.6	0.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	24.8	24.8	25.9	27.1	28.0	28.7	0.2	4.3	4.9	3.3	2.3
31 ビタミン剤	20.2	20.9	21.5	22.3	23.0	23.6	3.5	2.7	4.0	3.2	2.4
32 滋養強壮薬	20.8	21.3	21.8	22.5	23.1	23.5	2.3	2.2	3.4	2.6	1.4
325 蛋白アミノ酸製剤	17.7	18.0	18.4	18.9	19.3	19.5	2.0	1.8	2.9	2.2	0.8
33 血液・体液用薬	22.0	22.7	23.3	24.2	24.9	25.1	3.1	2.8	3.6	3.1	0.6
39 その他の代謝性医薬品	19.8	20.6	20.8	21.2	21.7	21.9	4.0	1.3	1.8	2.5	0.5
396 糖尿病用剤	25.8	26.6	27.4	28.4	29.0	28.3	3.2	3.1	3.6	2.1	▲2.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	20.1	20.1	17.6	15.5	14.7	14.7	▲0.0	▲12.2	▲11.8	▲5.1	▲0.0
42 腫瘍用薬	28.7	29.9	31.3	32.5	33.5	34.4	4.2	4.4	4.0	3.2	2.6
422 代謝拮抗剤	21.7	21.5	21.0	20.5	20.1	19.4	▲0.9	▲2.4	▲2.0	▲2.3	▲3.3
429 その他の腫瘍用薬	35.9	37.8	40.3	42.2	43.4	44.5	5.3	6.6	4.7	3.0	2.4
44 アレルギー用薬	11.6	11.9	12.3	13.0	13.7	14.0	2.5	4.1	5.6	5.2	2.3
52 漢方製剤	16.1	16.5	16.9	17.7	18.4	18.8	2.5	2.7	4.5	4.1	2.0
61 抗生物質製剤	5.4	5.5	5.6	5.7	5.8	5.8	1.5	2.2	2.1	1.4	0.8
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.2	4.3	4.3	4.4	4.4	4.5	1.2	1.1	1.3	0.6	1.3
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	6.7	6.7	6.9	7.1	7.1	7.1	▲0.5	3.5	2.5	0.9	▲0.3
62 化学療法剤	8.6	8.8	9.1	9.5	9.3	9.5	2.9	3.6	4.1	▲2.1	2.5
624 合成抗菌剤	5.2	5.2	5.2	5.3	5.3	5.2	▲0.4	0.4	1.6	▲0.3	▲1.0
625 抗ウイルス剤	5.7	6.5	7.6	7.8	7.4	9.0	14.5	18.0	2.5	▲6.2	22.8

注)表示していない項目(薬効)がある。

8. 薬効分類別の状況(4)(1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の1,258円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の33円である。

対前年度比は、中枢神経系用薬が3.0%で最も高く、ビタミン剤が▲10.9%で最も低い。

表8 内服薬 薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
内服薬 総数	93	88	90	88	90	86	▲5.3	2.9	▲3.0	3.0	▲5.0
11 中枢神経系用薬	71	70	74	73	77	79	▲1.2	5.7	▲1.2	5.5	3.0
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	34	32	33	31	31	30	▲4.3	1.1	▲6.4	1.1	▲4.6
114 解熱鎮痛消炎剤	67	62	64	64	67	64	▲7.3	2.8	▲0.0	5.1	▲3.7
116 抗パーキンソン剤	151	145	147	144	148	151	▲3.9	1.1	▲1.8	3.0	1.8
117 精神神経用剤	77	78	84	83	87	90	1.9	7.4	▲1.1	4.9	3.4
119 その他中枢神経系用薬	442	423	430	429	448	449	▲4.4	1.7	▲0.2	4.3	0.2
21 循環器官用薬	96	90	92	87	88	82	▲6.3	1.8	▲5.7	2.0	▲7.6
212 不整脈用剤	129	120	119	111	110	98	▲7.0	▲0.2	▲7.0	▲1.1	▲10.7
214 血圧降下剤	125	119	121	113	115	107	▲5.4	2.4	▲7.1	1.6	▲6.8
217 血管拡張剤	72	67	67	62	61	52	▲7.1	0.4	▲7.6	▲1.4	▲15.4
218 高脂血症用剤	126	112	110	103	104	95	▲11.1	▲1.5	▲6.3	0.9	▲8.9
22 呼吸器官用薬	41	38	38	36	36	33	▲7.5	▲1.1	▲5.2	0.5	▲9.3
23 消化器官用薬	56	53	54	53	54	50	▲6.2	3.3	▲3.1	3.6	▲7.9
232 消化性潰瘍用剤	76	71	73	71	73	66	▲7.3	3.7	▲3.4	3.4	▲9.4
239 その他の消化器官用薬	88	85	87	85	89	87	▲4.2	2.2	▲1.5	4.8	▲2.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	161	145	151	147	150	140	▲9.8	4.2	▲2.7	1.9	▲6.2
31 ビタミン剤	55	51	50	46	45	40	▲8.1	▲1.6	▲8.1	▲1.4	▲10.9
32 滋養強壮薬	115	112	116	114	118	112	▲2.1	2.9	▲1.0	2.8	▲4.9
325 蛋白アミノ酸製剤	734	687	678	640	629	580	▲6.5	▲1.3	▲5.6	▲1.7	▲7.8
33 血液・体液用薬	90	85	90	90	95	91	▲5.1	5.6	0.3	5.5	▲4.4
39 その他の代謝性医薬品	113	108	113	112	115	110	▲4.8	5.3	▲0.9	2.8	▲4.8
396 糖尿病用剤	90	84	86	82	83	80	▲6.6	2.2	▲4.6	0.5	▲3.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	246	233	262	295	322	313	▲5.1	12.2	12.8	9.0	▲2.7
42 腫瘍用薬	1,240	1,221	1,262	1,266	1,300	1,258	▲1.5	3.4	0.3	2.7	▲3.2
422 代謝拮抗剤	1,459	1,469	1,564	1,598	1,651	1,688	0.7	6.5	2.2	3.3	2.2
429 その他の腫瘍用薬	1,147	1,122	1,144	1,147	1,186	1,136	▲2.1	1.9	0.3	3.4	▲4.2
44 アレルギー用薬	132	124	128	125	129	120	▲6.0	3.6	▲2.8	3.5	▲7.1
52 漢方製剤	111	104	102	97	95	90	▲6.1	▲1.9	▲5.4	▲1.8	▲5.2
61 抗生物質製剤	223	210	210	199	202	187	▲5.8	▲0.3	▲5.2	1.6	▲7.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	241	223	223	215	215	198	▲7.5	0.1	▲3.8	0.4	▲8.0
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	226	212	207	189	193	178	▲6.2	▲2.4	▲8.5	2.0	▲7.6
62 化学療法剤	576	529	531	518	531	511	▲8.2	0.3	▲2.5	2.6	▲3.8
624 合成抗菌剤	501	470	481	470	480	445	▲6.2	2.3	▲2.3	2.2	▲7.4
625 抗ウイルス剤	1,259	1,232	1,320	1,252	1,139	1,280	▲2.1	7.1	▲5.2	▲9.0	12.4

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、ビタミン剤の46.5%が最も高く、次いで消化器官用薬の15.4%となっている。

対前年度差は、消化器官用薬が4.3%ポイントで最も高く、呼吸器官用薬が▲1.5%ポイントで最も低い。

表9 内服薬 後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)						対前年度差(%)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
内服薬 総数	4.6	5.2	5.5	6.3	7.0	8.4	0.6	0.3	0.8	0.7	1.4
11 中枢神経系用薬	2.3	2.4	2.6	3.0	3.1	3.4	0.2	0.1	0.5	0.1	0.3
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	3.0	3.6	4.1	5.0	5.2	6.2	0.5	0.5	0.8	0.3	1.0
114 解熱鎮痛消炎剤	4.3	4.9	5.1	5.8	6.0	7.2	0.6	0.2	0.7	0.2	1.2
116 抗パーキンソン剤	2.0	2.3	2.5	2.8	2.9	2.9	0.3	0.2	0.3	0.1	0.1
117 精神神経用剤	1.2	1.2	1.5	2.1	2.4	2.8	0.0	0.2	0.7	0.3	0.4
119 その他中枢神経系用薬	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0
21 循環器官用薬	2.7	3.2	3.4	4.7	5.9	7.5	0.5	0.2	1.3	1.1	1.6
212 不整脈用剤	3.4	3.7	4.1	5.0	5.6	7.1	0.3	0.4	0.9	0.6	1.6
214 血圧降下剤	1.0	1.2	1.3	1.5	1.6	2.0	0.2	0.1	0.2	0.1	0.4
217 血管拡張剤	1.5	2.1	2.6	7.4	13.2	21.0	0.6	0.5	4.9	5.7	7.8
218 高脂血症用剤	5.3	6.3	6.4	6.7	6.5	6.9	1.0	0.2	0.2	▲0.2	0.4
22 呼吸器官用薬	13.2	13.4	13.2	14.2	14.4	12.8	0.2	▲0.3	1.1	0.1	▲1.5
23 消化器官用薬	6.5	7.9	8.5	9.9	11.1	15.4	1.3	0.6	1.4	1.2	4.3
232 消化性潰瘍用剤	4.2	5.3	5.9	7.3	8.7	13.5	1.2	0.6	1.3	1.4	4.9
239 その他の消化器官用薬	1.2	1.3	1.2	1.4	1.8	2.4	0.1	▲0.1	0.2	0.3	0.6
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	3.6	5.4	4.9	4.4	4.8	6.0	1.8	▲0.5	▲0.6	0.4	1.3
31 ビタミン剤	41.9	42.6	43.4	44.6	45.0	46.5	0.8	0.7	1.2	0.4	1.5
32 滋養強壮薬	2.0	2.3	2.2	2.7	2.8	3.5	0.3	▲0.1	0.5	0.1	0.7
325 蛋白アミノ酸製剤	1.5	1.7	1.5	1.8	1.9	2.3	0.2	▲0.2	0.3	0.1	0.3
33 血液・体液用薬	6.6	7.4	7.5	8.3	8.7	11.1	0.9	0.1	0.8	0.4	2.4
39 その他の代謝性医薬品	4.1	5.3	5.7	6.7	7.1	8.0	1.2	0.4	1.0	0.4	0.9
396 糖尿病用剤	2.7	4.8	5.6	7.4	8.2	9.3	2.1	0.8	1.7	0.8	1.1
399 他に分類されない代謝性医薬品	1.8	2.8	3.2	3.7	4.0	4.4	1.0	0.3	0.5	0.3	0.5
42 腫瘍用薬	1.3	1.3	1.3	1.4	3.8	5.8	▲0.0	▲0.0	0.1	2.4	2.0
422 代謝拮抗剤	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0
429 その他の腫瘍用薬	2.1	2.0	1.9	2.0	5.4	8.2	▲0.1	▲0.1	0.1	3.4	2.8
44 アレルギー用薬	2.9	2.9	3.6	4.6	5.2	6.7	0.0	0.7	0.9	0.7	1.5
52 漢方製剤	—	—	—	—	—	0.0	—	—	—	—	—
61 抗生物質製剤	1.1	2.5	4.1	5.0	5.6	7.8	1.4	1.6	0.9	0.6	2.2
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	1.2	1.4	1.9	2.2	3.0	5.1	0.3	0.4	0.3	0.8	2.2
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.4	3.3	6.4	8.0	8.2	10.5	2.9	3.1	1.6	0.2	2.4
62 化学療法剤	4.1	4.9	5.5	5.6	6.2	7.3	0.8	0.5	0.1	0.7	1.1
624 合成抗菌剤	0.9	1.0	1.2	1.0	4.5	7.2	0.0	0.2	▲0.2	3.5	2.8
625 抗ウイルス剤	4.7	4.5	3.7	2.7	2.0	2.1	▲0.3	▲0.7	▲1.0	▲0.7	0.1

注)表示していない項目(薬効)がある。

10. 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数をみると、平成22年3月において、数量ベースで後発医薬品割合が20%未満の薬局数は44.0%で、20%以上の薬局数は56.0%となっている。

表10 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

		平成22年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
後発医薬品割合 (数量ベース)	20%未満	48.3	46.4	45.0	45.9	45.3	44.6	44.0	43.6	43.0	42.7	42.8	44.0
	10%未満	8.8	8.6	8.0	8.4	8.1	8.1	8.0	8.1	7.8	7.7	7.9	8.5
	10%以上 20%未満	39.5	37.8	37.0	37.5	37.1	36.5	35.9	35.5	35.1	35.0	34.9	35.5
	20%以上	51.7	53.6	55.0	54.1	54.7	55.4	56.0	56.4	57.0	57.3	57.2	56.0
	20%以上 25%未満	18.0	18.3	18.6	18.7	18.8	19.0	18.7	18.5	18.5	18.6	18.7	18.8
	25%以上 30%未満	13.5	14.0	14.5	14.1	14.3	14.5	14.7	14.8	14.9	15.3	15.2	15.2
	30%以上 40%未満	14.7	15.6	16.1	15.7	16.0	16.4	16.8	17.2	17.7	17.7	17.6	16.8
	40%以上 50%未満	3.9	4.1	4.2	3.9	4.0	4.0	4.1	4.2	4.3	4.1	4.1	3.8
	50%以上 60%未満	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1
	60%以上 70%未満	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3
	70%以上 80%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	80%以上 90%未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
90%以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

注1)「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 後発医薬品割合(数量ベース)の算出からは、経腸成分栄養剤及び特殊ミルク製剤は除外している。

11. 後発医薬品割合

後発医薬品割合は薬剤料ベースが8.2%、数量ベースが22.4%、後発医薬品調剤率は47.7%となっている。対前年度差は、薬剤料ベースが1.3%ポイント、数量ベースが3.4%ポイント、後発医薬品調剤率が3.7%ポイントとなっている。

表11 後発医薬品割合

	実数(%)						対前年度差(%ポイント)				
	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
後発医薬品割合 (薬剤料ベース)	4.9	5.4	5.6	6.4	6.9	8.2	0.5	0.2	0.7	0.6	1.3
参考:後発医薬品割合 (数量ベース)	14.1	15.4	16.1	18.0	18.9	22.4	1.3	0.7	1.9	0.9	3.4
参考:後発医薬品調剤率	37.9	39.4	40.1	43.1	44.0	47.7	1.5	0.7	3.0	1.0	3.7

12. 都道府県別の状況(1)(処方せん1枚当たり調剤医療費)

処方せん1枚当たり調剤医療費を都道府県別にみると、石川県が10,428円で最も高く、最も低いのは佐賀県の6,676円である。

表12 都道府県別 処方せん1枚当たり調剤医療費(全数及び電算処理分) 平成22年度

	電算化率(%) (前年度差)		処方せん1枚当たり調剤医療費				
			全数(円) (前年度比(%))		電算処理分(円) (前年度比(%))		電算処理分/全数
全 国	99.3	(0.3)	7,985	(▲0.6)	7,984	(▲0.6)	
北海道	99.5	(0.1)	9,401	(▲0.4)	9,409	(▲0.4)	1.001
青 森	99.4	(0.1)	7,950	(0.1)	7,950	(0.2)	1.000
岩 手	99.3	(▲0.1)	8,595	(▲2.1)	8,597	(▲2.1)	1.000
宮 城	99.5	(0.4)	7,765	(▲1.3)	7,766	(▲1.6)	1.000
秋 田	99.3	(▲0.0)	9,286	(▲0.6)	9,290	(▲0.7)	1.000
山 形	99.4	(0.0)	8,095	(▲1.7)	8,089	(▲1.7)	0.999
福 島	99.4	(0.0)	8,668	(▲1.8)	8,672	(▲1.8)	1.000
茨 城	99.1	(1.0)	8,736	(▲1.3)	8,730	(▲1.0)	0.999
栃 木	99.3	(0.8)	7,871	(▲0.6)	7,867	(▲0.5)	1.000
群 馬	99.1	(0.2)	8,229	(▲1.2)	8,221	(▲1.3)	0.999
埼 玉	99.2	(0.1)	7,877	(0.4)	7,872	(0.4)	0.999
千 葉	99.3	(0.3)	7,953	(▲0.6)	7,951	(▲0.5)	1.000
東 京	99.3	(0.4)	7,812	(▲0.5)	7,817	(▲0.4)	1.001
神奈川	99.3	(0.3)	7,580	(▲0.3)	7,581	(▲0.3)	1.000
新 潟	99.4	(0.2)	8,280	(▲1.1)	8,274	(▲1.2)	0.999
富 山	99.3	(0.5)	9,011	(▲1.3)	9,007	(▲1.2)	1.000
石 川	99.2	(▲0.0)	10,428	(▲2.0)	10,426	(▲2.1)	1.000
福 井	99.2	(0.8)	10,046	(▲2.8)	10,037	(▲2.6)	0.999
山 梨	99.0	(0.4)	8,719	(▲1.9)	8,712	(▲2.0)	0.999
長 野	98.5	(▲0.3)	9,142	(▲2.0)	9,110	(▲2.3)	0.997
岐 阜	99.4	(0.1)	8,065	(▲2.0)	8,055	(▲2.1)	0.999
静 岡	99.3	(0.0)	7,841	(▲0.9)	7,839	(▲0.9)	1.000
愛 知	99.5	(0.3)	7,658	(▲1.1)	7,656	(▲1.1)	1.000
三 重	99.3	(0.2)	7,859	(▲1.8)	7,856	(▲1.7)	1.000
滋 賀	99.1	(0.0)	8,374	(▲1.3)	8,364	(▲1.3)	0.999
京 都	99.1	(0.3)	9,834	(▲1.4)	9,833	(▲1.4)	1.000
大 阪	99.2	(0.1)	8,376	(▲0.7)	8,385	(▲0.6)	1.001
兵 庫	99.4	(0.2)	7,647	(▲0.6)	7,646	(▲0.6)	1.000
良 奈	99.2	(0.0)	7,988	(▲0.8)	7,988	(▲0.8)	1.000
和歌山	99.3	(0.2)	8,287	(▲1.9)	8,291	(▲1.9)	1.001
鳥 取	99.4	(▲0.0)	8,495	(0.5)	8,495	(0.4)	1.000
島 根	99.5	(0.1)	8,348	(▲1.4)	8,349	(▲1.4)	1.000
山 口	99.2	(0.2)	7,435	(0.3)	7,434	(0.3)	1.000
広 島	99.1	(0.6)	7,405	(0.4)	7,406	(0.4)	1.000
山 口	99.3	(▲0.1)	7,552	(0.1)	7,536	(▲0.2)	0.998
徳 島	98.8	(0.2)	8,440	(▲1.6)	8,424	(▲1.8)	0.998
香 川	99.3	(0.3)	8,292	(▲0.7)	8,286	(▲0.7)	0.999
愛 媛	99.3	(0.2)	8,126	(▲1.3)	8,122	(▲1.3)	0.999
高 知	98.9	(0.0)	9,171	(▲0.7)	9,159	(▲0.8)	0.999
福 岡	99.2	(0.9)	6,804	(0.5)	6,803	(0.4)	1.000
佐 賀	99.3	(0.1)	6,676	(0.6)	6,672	(0.6)	0.999
長 崎	99.4	(0.5)	7,560	(0.4)	7,558	(0.5)	1.000
熊 本	99.5	(0.3)	7,193	(▲0.3)	7,192	(▲0.4)	1.000
大 分	99.5	(0.1)	7,962	(0.3)	7,969	(0.3)	1.001
宮 崎	99.5	(0.2)	7,361	(▲0.4)	7,360	(▲0.5)	1.000
鹿 児 島	99.5	(▲0.0)	7,173	(0.5)	7,174	(0.5)	1.000
沖 縄	99.4	(0.2)	7,495	(0.6)	7,488	(0.6)	0.999

13. 都道府県別の状況(2)(処方せん1枚当たり調剤医療費の報酬別内訳)

処方せん1枚当たり調剤医療費の報酬別内訳を都道府県別にみると、処方せん1枚当たり調剤医療費が最も高い石川県では、技術料の割合が22.1%、薬剤料の割合が77.7%となっている。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が30.8%、薬剤料の割合が69.1%となっている。

表13 都道府県別 処方せん1枚当たり調剤医療費の報酬別内訳

平成22年度

	調剤医療費(円) (前年度比(%))		技術料(円) (前年度比(%))				薬剤料(円) (前年度比(%))		特定保険医療材料(円) (前年度比(%))		
			構成割合(%)		構成割合(%)		構成割合(%)		構成割合(%)		
全国	7,984	(▲0.6)	2,104	(4.7)	26.3	5,867	(▲2.4)	73.5	13	(1.3)	0.2
北海道	9,409	(▲0.4)	2,235	(4.1)	23.7	7,161	(▲1.7)	76.1	13	(▲1.4)	0.1
青森	7,950	(0.2)	2,120	(5.4)	26.7	5,808	(▲1.6)	73.1	22	(▲0.2)	0.3
岩手	8,597	(▲2.1)	2,147	(4.4)	25.0	6,439	(▲4.1)	74.9	11	(0.5)	0.1
宮城	7,766	(▲1.6)	2,089	(4.5)	26.9	5,666	(▲3.7)	73.0	11	(5.6)	0.1
秋田	9,290	(▲0.7)	2,195	(4.1)	23.6	7,078	(▲2.1)	76.2	18	(6.6)	0.2
山形	8,089	(▲1.7)	2,144	(5.2)	26.5	5,915	(▲4.0)	73.1	30	(0.9)	0.4
福島	8,672	(▲1.8)	2,217	(4.1)	25.6	6,444	(▲3.7)	74.3	12	(2.9)	0.1
茨城	8,730	(▲1.0)	2,174	(4.7)	24.9	6,544	(▲2.7)	75.0	12	(0.1)	0.1
栃木	7,867	(▲0.5)	2,090	(5.6)	26.6	5,765	(▲2.6)	73.3	12	(2.4)	0.2
群馬	8,221	(▲1.3)	2,071	(4.9)	25.2	6,135	(▲3.3)	74.6	15	(12.1)	0.2
埼玉	7,872	(0.4)	2,072	(5.3)	26.3	5,787	(▲1.3)	73.5	12	(6.1)	0.2
千葉	7,951	(▲0.5)	2,062	(5.0)	25.9	5,875	(▲2.3)	73.9	13	(3.1)	0.2
東京	7,817	(▲0.4)	2,027	(4.3)	25.9	5,777	(▲2.0)	73.9	12	(1.7)	0.2
神奈川	7,581	(▲0.3)	2,010	(4.8)	26.5	5,559	(▲2.0)	73.3	12	(▲2.2)	0.2
新潟	8,274	(▲1.2)	2,172	(4.6)	26.2	6,093	(▲3.0)	73.6	9	(▲5.2)	0.1
富山	9,007	(▲1.2)	2,237	(3.6)	24.8	6,752	(▲2.7)	75.0	18	(28.8)	0.2
石川	10,426	(▲2.1)	2,306	(1.5)	22.1	8,100	(▲3.0)	77.7	20	(▲0.9)	0.2
福井	10,037	(▲2.6)	2,239	(3.1)	22.3	7,761	(▲4.1)	77.3	37	(▲12.9)	0.4
山梨	8,712	(▲2.0)	2,094	(1.2)	24.0	6,598	(▲3.0)	75.7	20	(▲0.7)	0.2
長野	9,110	(▲2.3)	2,251	(2.7)	24.7	6,845	(▲3.8)	75.1	15	(4.8)	0.2
岐阜	8,055	(▲2.1)	2,153	(3.1)	26.7	5,889	(▲3.8)	73.1	12	(▲1.3)	0.2
静岡	7,839	(▲0.9)	2,089	(5.0)	26.7	5,735	(▲2.9)	73.2	14	(▲9.3)	0.2
愛知	7,656	(▲1.1)	2,069	(4.5)	27.0	5,574	(▲3.0)	72.8	13	(▲0.8)	0.2
三重	7,856	(▲1.7)	2,105	(3.7)	26.8	5,738	(▲3.6)	73.0	12	(▲4.3)	0.2
滋賀	8,364	(▲1.3)	2,060	(3.3)	24.6	6,279	(▲2.7)	75.1	25	(3.0)	0.3
京都	9,833	(▲1.4)	2,253	(3.8)	22.9	7,546	(▲2.9)	76.7	33	(10.6)	0.3
大阪	8,385	(▲0.6)	2,151	(5.2)	25.7	6,215	(▲2.5)	74.1	19	(▲3.5)	0.2
兵庫	7,646	(▲0.6)	2,093	(4.8)	27.4	5,542	(▲2.5)	72.5	11	(2.8)	0.1
奈良	7,988	(▲0.8)	2,213	(5.2)	27.7	5,767	(▲2.9)	72.2	8	(▲0.2)	0.1
和歌山	8,291	(▲1.9)	2,100	(4.1)	25.3	6,180	(▲3.7)	74.5	12	(▲2.4)	0.1
鳥取	8,495	(0.4)	2,217	(3.7)	26.1	6,260	(▲0.7)	73.7	17	(8.9)	0.2
島根	8,349	(▲1.4)	2,244	(3.8)	26.9	6,087	(▲3.2)	72.9	18	(▲2.0)	0.2
岡山	7,434	(0.3)	2,118	(5.8)	28.5	5,306	(▲1.7)	71.4	10	(▲1.9)	0.1
広島	7,406	(0.4)	2,094	(5.3)	28.3	5,300	(▲1.4)	71.6	12	(▲0.7)	0.2
山口	7,536	(▲0.2)	2,135	(5.9)	28.3	5,391	(▲2.4)	71.5	10	(3.3)	0.1
徳島	8,424	(▲1.8)	2,143	(2.9)	25.4	6,264	(▲3.3)	74.4	16	(5.1)	0.2
香川	8,286	(▲0.7)	2,147	(4.5)	25.9	6,105	(▲2.3)	73.7	33	(▲3.6)	0.4
愛媛	8,122	(▲1.3)	2,111	(4.2)	26.0	5,996	(▲3.2)	73.8	15	(▲1.2)	0.2
高知	9,159	(▲0.8)	2,216	(2.2)	24.2	6,933	(▲1.7)	75.7	11	(▲6.6)	0.1
福岡	6,803	(0.4)	2,059	(5.5)	30.3	4,735	(▲1.6)	69.6	9	(7.3)	0.1
佐賀	6,672	(0.6)	2,053	(4.6)	30.8	4,614	(▲1.2)	69.1	6	(16.7)	0.1
長崎	7,558	(0.5)	2,090	(5.1)	27.6	5,457	(▲1.2)	72.2	12	(16.9)	0.2
熊本	7,192	(▲0.4)	2,055	(5.6)	28.6	5,124	(▲2.6)	71.2	13	(13.4)	0.2
大分	7,969	(0.3)	2,131	(5.1)	26.7	5,833	(▲1.4)	73.2	5	(5.0)	0.1
宮崎	7,360	(▲0.5)	2,092	(4.8)	28.4	5,259	(▲2.5)	71.5	9	(0.5)	0.1
鹿児島	7,174	(0.5)	2,155	(6.6)	30.0	5,012	(▲2.0)	69.9	7	(7.2)	0.1
沖縄	7,488	(0.6)	2,075	(8.1)	27.7	5,396	(▲2.0)	72.1	17	(▲1.5)	0.2

14. 都道府県別の状況(3)(処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、石川県が7,016円と最も高く、処方せん1枚当たり薬剤種類数、投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.29、23.6日、91円となっている。一方、佐賀県が3,915円と最も低く、3要素に分解すると、2.94、15.9日、84円となっており、投薬日数が最も低くなっている。

表14 都道府県別 内服薬 処方せん1枚当たり薬剤料の3要素分解 平成22年度

	処方せん1枚当たり薬剤料(円)							
	(前年度比(%))		処方せん1枚当たり 薬剤種類数 (前年度比(%))		投薬日数(日) (前年度比(%))		1種類1日当たり 薬剤料(円) (前年度比(%))	
全国	4,936	(▲3.0)	2.90	(1.2)	19.9	(0.9)	86	(▲5.0)
北海道	6,056	(▲2.2)	3.21	(0.4)	23.1	(2.3)	81	(▲4.8)
青森	4,915	(▲2.1)	2.97	(1.9)	20.2	(1.5)	82	(▲5.4)
岩手	5,546	(▲4.6)	2.89	(1.9)	23.4	(▲0.7)	82	(▲5.7)
宮城	4,782	(▲4.1)	2.89	(1.9)	20.4	(▲0.5)	81	(▲5.4)
秋田	6,064	(▲2.5)	3.18	(1.6)	23.2	(1.1)	82	(▲5.1)
山形	4,971	(▲4.4)	2.81	(1.1)	21.5	(▲0.5)	82	(▲5.0)
福島	5,539	(▲4.2)	3.12	(1.2)	21.1	(0.2)	84	(▲5.6)
茨城	5,611	(▲3.2)	2.97	(1.0)	21.9	(1.4)	86	(▲5.5)
栃木	4,937	(▲3.1)	2.94	(1.8)	19.7	(0.6)	85	(▲5.4)
群馬	5,210	(▲4.0)	2.93	(1.7)	20.4	(▲0.1)	87	(▲5.4)
埼玉	4,872	(▲2.8)	2.82	(1.3)	20.2	(1.1)	86	(▲5.2)
千葉	4,941	(▲2.8)	2.75	(1.5)	21.0	(0.9)	86	(▲5.2)
東京	4,838	(▲2.6)	2.80	(1.4)	19.5	(0.4)	88	(▲4.3)
神奈川	4,652	(▲2.8)	2.66	(1.4)	19.9	(0.6)	88	(▲4.7)
新潟	5,175	(▲3.4)	2.76	(1.6)	22.8	(0.6)	83	(▲5.5)
富山	5,784	(▲3.5)	2.92	(1.4)	23.4	(1.1)	85	(▲5.9)
石川	7,016	(▲3.7)	3.29	(0.6)	23.6	(0.4)	91	(▲4.7)
福井	6,622	(▲4.0)	3.19	(1.3)	23.4	(▲0.4)	89	(▲4.9)
山梨	5,599	(▲3.5)	2.87	(0.1)	22.5	(0.8)	87	(▲4.4)
長野	5,824	(▲4.6)	2.89	(0.7)	24.1	(0.8)	83	(▲6.0)
岐阜	4,960	(▲4.7)	3.02	(0.5)	18.8	(0.3)	87	(▲5.5)
静岡	4,801	(▲3.7)	2.76	(0.9)	20.2	(1.0)	86	(▲5.5)
愛知	4,655	(▲3.6)	2.84	(1.0)	18.5	(0.6)	89	(▲5.1)
三重	4,859	(▲4.0)	2.86	(0.8)	19.8	(0.7)	86	(▲5.5)
滋賀	5,266	(▲3.4)	2.85	(1.2)	20.8	(1.3)	89	(▲5.8)
京都	6,348	(▲3.2)	3.07	(0.5)	22.5	(0.8)	92	(▲4.5)
大阪	5,160	(▲2.9)	3.06	(1.1)	18.8	(0.8)	89	(▲4.7)
兵庫	4,598	(▲2.9)	2.83	(1.0)	18.9	(1.3)	86	(▲5.1)
奈良	4,825	(▲3.0)	2.82	(1.3)	20.6	(0.9)	83	(▲5.0)
和歌山	5,186	(▲4.3)	2.98	(0.4)	20.4	(▲0.4)	85	(▲4.3)
鳥取	5,349	(▲1.0)	2.99	(1.0)	20.5	(2.6)	87	(▲4.4)
島根	5,285	(▲3.7)	3.13	(1.4)	20.6	(0.9)	82	(▲5.9)
岡山	4,532	(▲2.2)	3.01	(1.3)	18.3	(2.0)	82	(▲5.3)
広島	4,455	(▲1.6)	2.97	(1.6)	17.0	(1.6)	88	(▲4.6)
山口	4,547	(▲3.0)	2.79	(1.0)	18.7	(2.1)	87	(▲5.9)
徳島	5,392	(▲3.9)	3.08	(0.7)	19.2	(0.4)	91	(▲5.1)
香川	5,123	(▲2.7)	2.93	(0.2)	19.3	(2.1)	91	(▲4.9)
愛媛	5,031	(▲3.6)	2.86	(0.6)	20.1	(0.8)	88	(▲4.9)
高知	5,956	(▲2.2)	3.18	(0.7)	21.7	(2.2)	86	(▲5.0)
福岡	3,953	(▲2.0)	2.97	(1.5)	16.2	(1.4)	82	(▲4.7)
佐賀	3,915	(▲1.4)	2.94	(1.6)	15.9	(1.7)	84	(▲4.5)
崎	4,585	(▲1.9)	3.05	(1.5)	18.4	(1.6)	81	(▲4.8)
熊本	4,270	(▲3.1)	3.12	(0.9)	17.2	(1.7)	80	(▲5.6)
大分	4,962	(▲1.8)	3.16	(1.4)	18.7	(2.3)	84	(▲5.4)
宮崎	4,335	(▲3.0)	2.89	(1.8)	18.5	(1.3)	81	(▲6.0)
鹿児島	4,204	(▲2.5)	2.93	(1.6)	18.3	(2.0)	78	(▲5.9)
沖縄	4,374	(▲2.1)	2.75	(1.9)	20.6	(1.0)	77	(▲4.9)

15. 都道府県別の状況(4)(後発医薬品割合)

後発医薬品割合を都道府県別にみると、薬剤料、数量ベースともに沖縄県が最も高く、12.5%、35.9%となっている。一方、数量ベースでは秋田県が最も低く17.8%、薬剤料ベースでは徳島県が最も低く6.1%となっている。

表15 都道府県別 後発医薬品割合

平成22年度

	後発医薬品割合				(参考)後発医薬品調剤率(%) (前年度差(%))	
	薬剤料ベース(%) (前年度差(%))		(参考)数量ベース(%) (前年度差(%))			
全 国	8.2	(1.3)	22.4	(3.4)	47.7	(3.7)
北 海 道	9.2	(0.9)	23.7	(2.8)	51.8	(2.8)
青 森	9.7	(1.2)	25.4	(3.6)	53.6	(2.9)
岩 手	10.8	(1.2)	25.4	(3.2)	53.6	(3.8)
宮 城	9.1	(1.0)	24.3	(2.7)	51.1	(3.1)
秋 田	6.6	(0.9)	17.8	(2.2)	43.8	(1.9)
山 形	9.5	(1.5)	25.1	(4.1)	51.8	(4.7)
福 島	8.1	(1.4)	22.2	(3.4)	51.1	(4.0)
茨 城	8.2	(1.6)	21.9	(3.9)	46.0	(3.8)
栃 木	8.7	(1.6)	23.1	(3.5)	49.1	(4.0)
群 馬	8.2	(1.3)	23.3	(3.3)	48.1	(4.6)
埼 玉	8.6	(1.4)	23.3	(3.9)	48.4	(4.3)
千 葉	8.2	(1.1)	22.6	(3.2)	46.2	(3.5)
東 京	7.0	(1.0)	19.3	(2.9)	41.4	(3.1)
神 奈 川	7.7	(1.1)	21.1	(3.3)	42.6	(3.5)
新 潟	9.2	(1.7)	23.6	(4.6)	50.3	(5.0)
富 山	9.3	(1.7)	25.2	(4.5)	53.8	(4.2)
石 川	7.7	(1.5)	22.7	(3.6)	48.5	(3.7)
福 井	7.6	(1.5)	23.3	(4.1)	50.6	(4.8)
山 梨	7.2	(1.0)	20.0	(2.4)	43.3	(3.1)
長 野	9.2	(1.8)	23.0	(4.1)	45.3	(4.4)
岐 阜	7.8	(1.4)	21.8	(3.7)	49.1	(4.0)
静 岡	8.6	(1.5)	22.9	(3.7)	48.3	(4.1)
愛 知	7.7	(1.3)	21.3	(4.0)	48.2	(3.9)
三 重	8.3	(1.3)	22.7	(3.4)	49.6	(3.6)
滋 賀	7.1	(1.6)	20.4	(3.9)	45.4	(3.9)
京 都	7.2	(0.9)	22.1	(2.5)	46.2	(2.5)
大 阪	7.3	(1.0)	21.7	(3.2)	46.8	(3.7)
兵 庫	8.0	(1.4)	22.5	(3.6)	47.4	(3.9)
奈 良	9.0	(1.2)	23.6	(3.0)	47.3	(2.9)
和 歌 山	7.5	(1.1)	20.8	(3.4)	44.6	(4.1)
鳥 取	7.3	(1.2)	21.6	(3.5)	45.9	(3.3)
島 根	8.6	(1.9)	22.7	(4.7)	47.6	(3.9)
岡 山	8.7	(1.5)	24.5	(4.0)	50.6	(3.9)
広 島	7.9	(1.1)	21.7	(3.6)	47.8	(2.7)
山 口	8.7	(1.7)	23.6	(4.5)	50.7	(4.9)
徳 島	6.1	(1.2)	18.3	(3.3)	41.9	(3.7)
香 川	6.9	(1.3)	21.4	(3.7)	46.1	(3.6)
媛 知	7.1	(1.1)	22.2	(2.9)	49.6	(3.0)
高 知	7.5	(1.7)	20.5	(3.5)	46.1	(3.6)
福 岡	8.5	(1.3)	23.5	(3.7)	51.6	(4.3)
佐 賀	8.2	(1.1)	22.0	(3.1)	50.4	(3.8)
長 崎	8.5	(1.4)	23.3	(3.1)	51.5	(3.2)
熊 本	9.5	(1.6)	25.4	(3.9)	55.0	(4.2)
大 分	8.4	(1.2)	23.3	(2.7)	50.3	(2.4)
宮 崎	8.8	(1.7)	24.7	(3.9)	52.3	(4.8)
鹿 児 島	10.9	(1.9)	28.0	(4.7)	56.6	(4.8)
沖 縄	12.5	(1.6)	35.9	(4.9)	62.9	(4.2)